

# 広報まき

第495号

1986  
11/10

発行／新潟県卷町 編集／企画課 ☎72-3131 毎月2回 10日・25日発行



モチつきをうすどきねでするなんて、現代つねにはピンときません。越前小文化祭で十月二十六日にモチつき大会をしたところ、児童は珍しさに魅かれて次々にきねを手に。

おいしい昼食のことを考えながら力を入れます。が、体がぶらついたり、途中で休む児童も。「思つたよりもくたびれた！」

人口 29,425 (+17)

男 14,384 (+16)

女 15,091 (+1)

世帯数 7,673 (+7)

9月30日現在

(内は前月比)



二十年前、県内最大の鎧潟が干拓されました。今は一面田んぼが広がるそのわきに、県農業大学校とともに

（5）昭和61年11月10日

身者はわずか五十二人（二・一%）にすぎません。平均して毎年三人以下です。特に、五十三年度以降の卒業生に限ると、五十七年度二人、六十年度三人と、最近では町出身者のいないほうが圧倒的に多くなっています。在校生をみても、一年生に二人いるだけで、二、三年生には見あたりません。

確かに、地域に関係なく全県から広く農家の子供を集め（ある一定以上の耕地を親が持っているという農業委員会の証明が必要）という趣旨から見て地元の割合が高くなるのは納得できますが、それでも低すぎるのは、地元の生徒が少ないことが、わたしたちに今一つ親近感が持てない一番の理由だと考えられます。（ちなみに、生徒の出身地として多い所は白根市近郊、新発田市近郊、魚沼地方）生徒の食糧や服などはす



石田和幸さん (28歳・羽田)

なぜ、卷の人間が興農館へ来ないのかという理由を校長先生やBの方に尋ねたところ、次のように答えて返ってきました。

①目前に自由でゆつたりとした生活があるのに、寮生活でしばられるのを嫌うのではないか。

②近くに大都市新潟があり、仕事にあまり不自由しない。山間部など

### 夢を見させてくれる学校

石田さんは、五十一年に卒業後、

全国に四十ある文部省指定の自営者養成農業高校のうちの一校ですが、二年間通して寮生活という全寮制は高鍋農業高校（宮崎）、農業経営高校（静岡）と興農館高校の三校だけです。

### 全寮制は生徒の憧れ



#### ▲寮生活は青春の1ページ

米の輸入自由化の問題が脚光を浴びたり、コンピューターの導入などによって農業は大きな転換期を迎えつつあります。興農館高校でもそれに対応するために、実験実習棟建設の請願やバイオテクノロジー（生命工学）研究（薬用植物での組織培養）に取り組むなど新しいものを吸収しています。

「はいろうと思ったのは、親から離れて、自立したいと考えたからです。寮生活はきびしかったけれど、自分のだらだらした生活がきちんと引き締まり大成功だったと思っていますが、現代っ子にとって

これが一番の収穫でした。興農館高校を一言で言うと、頑張りを教えてくれる学校、夢を見させてくれる学校だと思いますね。あとは本人の意志と根性だと思います。五月に子供が生まれますが、その子が農業をやりたいと言ったら絶対に興農館に入れたいですね。」

この寮は、単なる下宿としての役割でなく、きびしいしつけを教育する場として存続しています。朝六時二十分起床、夜十時半消灯）に比べれば幾分緩やかになっていますが、現代っ子にとって

は厳しいものです。  
また、上級生と下級生の間に一種の階級制ができ、しつけ、礼儀などの指導は責任をもつて上級生がするという伝統も残っています。  
何人かの三年生に感想を求めるところ、「寮に憧れて興農館を選んだと言ふ人が多く、「県内のいろいろな所の人と友達になれる」「勉強で、わからない所を教え合うことができる」など寮生活は青春の大切な一コマになっているようです。

● ● ● ● ● ● ●

※ ここでいう就農率とは、農業高校の農業、園芸、畜産科の卒業生のうちで、卒業後直ちに農業に従事した人、農業従事を目的に進学した人（現場研修等を含む）の割合のことです。

二十年前、県内最大の鎧潟が干拓されました。今は一面田んぼが広がるそのわきに、県農業大学校とともに

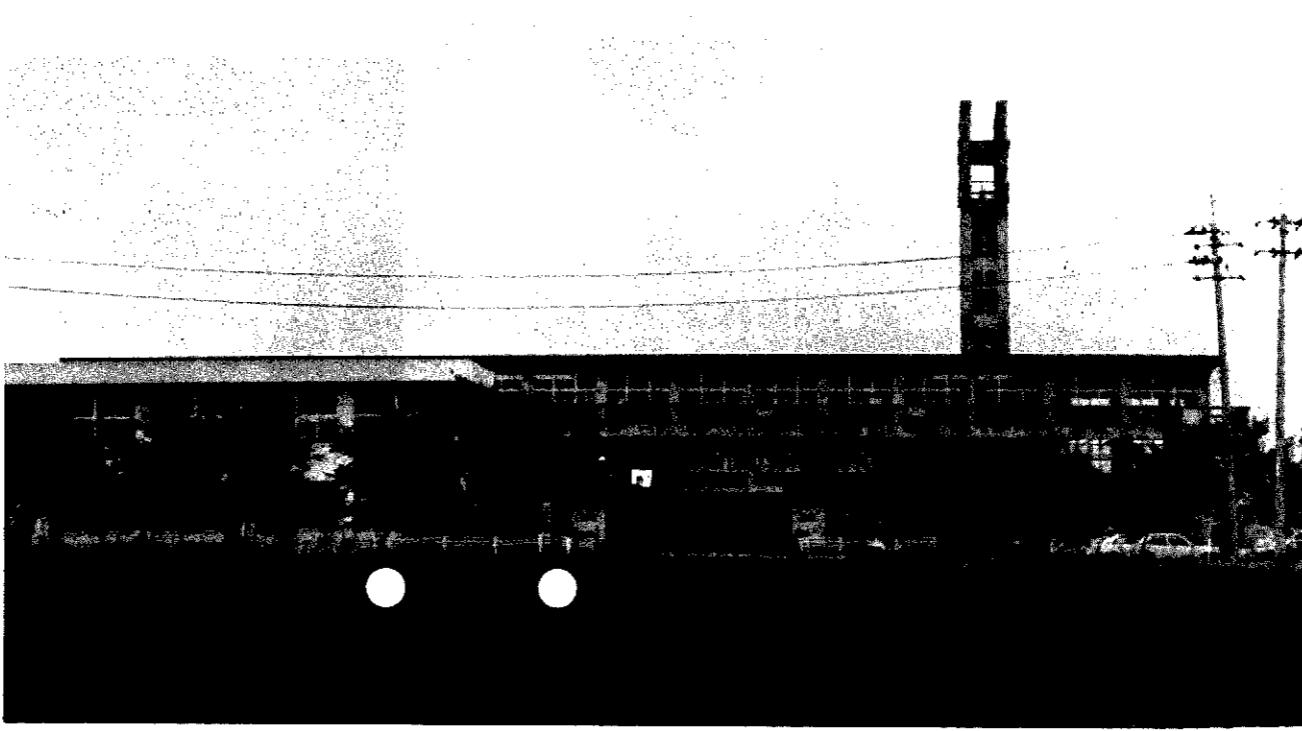
に県立興農館高校が建っています。  
今年で創立二十二年目。  
その興農館高校を紹介します。

### 今年で満二十二歳

昭和三十八年に県内の六市村（新発田、加茂、高田〔現上越市〕、妙高、大和、弥彦の各村）との激しい誘致陳情合戦の末、当町に県農業教育センター（五十三年に県農業大学校と改称）が発足しました。興農館高校が誕生したのは翌三十九年、センター本科生を高校一回生に置き換え、以来卒業生は二千四百三十四人を数えます。大農業自営者の養成を目的とした興農館高校は、大穀倉地帯蒲原平野にふさわしく、三十九年度の入学志願者の倍率は三・九三倍にも。

### 廃校の危機が二度も

ところが、大規模な減反政策が



▲蒲原平野に映える校舎  
（新発田、加茂、高田〔現上越市〕、妙高、大和、弥彦の各村）との激しい誘致陳情合戦の末、当町に県農業教育センター（五十三年に県農業大学校と改称）が発足しました。興農館高校が誕生したのは翌三十九年、センター本科生を高校一回生に置き換え、以来卒業生は二千四百三十四人を数えます。大農業自営者の養成を目的とした興農館高校は、大穀倉地帯蒲原平野にふさわしく、三十九年度の入学志願者の倍率は三・九三倍にも。

打ち出された四十年、四十一一年から、志願者は激減し始め、四十五年度の倍率は一倍を割り込んでしまいました。五十二年一度には一学級減り、昨年三十九年度の約三分の一に。

この間、廃校の危機が二度ほどあり、PTAや同窓会の熱心な陳情によって持ちこたえたということです。

興農館高校には各種農業団体や機関が深く関係しており、各市町村などからも期待の声が大きいのですが、一つの特殊性があります。その特殊性とは、町内からの入学者が非常に少ないとということです。



▲実習は真剣に

## 全寮制で農業後継者教育

4高校のある町  
町内の4高校を4回にわたって紹介します。

No.1





えものなくとも、こ気嫌  
みどり保、雑魚すき  
みどり保園では十年以上も続いている伝統の  
「雑魚すき」を十月二十日、北小近くの用水路  
で行いました。

年長組の二十一人が網を持って戦闘苦闘三十分。  
えものは二匹のぎりがにと、いっぱいのたにし。この  
数年はふなも採れません」と先生は寂しそう。  
しかし、園児はお母さん泣かせの服を泥だらけに  
して満足げ。

## 秋の越中路を走る

お座敷列車ふれあい町民号  
十月二十四日、お座敷列車  
ふれあい町民号出発に先立ち、  
歌手の歌川二三子さん、新幹  
線レディの三人でくす玉を割  
り出発式。

列車の中では、すぐに宴会  
プラットホームで、佐藤町長、  
が始まり、約二百人の参加者  
は相あいあい。二日間越中  
路の旅を満喫しました。

一日から国鉄ダイヤが大幅  
正され、駅からの列車本数  
も上り下りとも二本増え、通  
勤通学の利便が図られました。  
新しい時刻表をよく見てください。



**写 真  
ニュース**  
あなたの身の  
まわりの情報  
教えてください。 ☎ 3131

◆ 越前小の家庭教育学級から  
パチャさん(タイ)さよなら  
仁箇の人と記念撮影

年通りで出発しました。青木校長は以前県の社会教育主事時代に実際にこの問題を手がけたこともあります。今年度以降、それぞれの学校での学級運営の際には、素晴らしい見本になることでしょう。

市橋清市PTA会長の話をまとめても、父兄の間で意識の向上が見られ、学級参加者の中に人材的に伸びた人も多いと大成功の一言に尽きるようです。

国と町の補助を受けての家庭教育級は、公民館、社会教育課の

「内容が豊富で、すべてが実行できたらと思うことばかりでした。自分にとって正しい子育てと思つても、毎回講師の広い視野での話を聞いていると、時代の移り変わりにとまどうばかりです。」これは、越前小学校で開かれている家庭教育学級参加者二十五人の受講後の感想の一部です。参加率は八五%を越えます。

青木昭平校長や

市橋清市PTA会長の話をまとめても、父兄の間で意識の向上が見られ、学級参加者の中に人材的に伸びた人も多いと大成功の一言に尽きるようです。

国と町の補助を受けての家庭教育級は、公民館、社会教育課の

指導のもと、七つの小中学校でそれ年二～三回開かれてきました。ところが、それでは焦点がぼけるというので、今年度から毎年一校ずつを重点校にして取り組むことになり、学番が一番の越前小

に白羽の矢が立ち、他の学校は例

さで、家庭教育学級の目的は、「子供の成長には親の再教育が必要なので、親の教養を高め、ひいては地域の向上を目指す」ということです。

越前小家庭教育学級の十回、二十七時間に及ぶカリキュラムは、すべて学級生が企画運営委員会で決議されました。講師は青木校長の幅広い交友関係からバラエティに富んだ人たちが集まりました。

既に、「子どもの成長と友人と遊び」、「学校の勉強と家庭学習・宿題・塾」など七回の学習が終わり、今月十六日には、特に要望の多かった家庭内での性教育について学習があります。

広報六月十日号で紹介しましたタイからの農業実習生 パチャック、チエンジャムラ(愛称パチャヤ)さんが、約七か月の実習を終えて帰国。二日は、仁箇分館主催で送別会があり、部落役員らが別れを惜しみました。翌日の農業祭での野菜即売会にも飛び入り参加。

「空から降つてくる雪を見たかった」とちょっぴり残念そうでした。

## 夏休みの特訓実る

## 中学校郡市新人戦で活躍

郡市中学校新人総合体育大会が十月七日、三条・燕総合グラウンドなどで開かれました。上位入賞者は次の通りです。(△又キ順位は大会新記録)

【陸上】◆男子▽一年百尺②遠藤幸博(東)③大沢伸一郎(西)▽二百尺②杉山克也(西)▽八百尺①徳吉英樹(東)▽百十尺ハーフ①棚辺正美(東)②佐藤朋弘(東)③服部和彦(西)▽二年八百尺リレー③池田、岩崎、杉山、山本(西)▽走幅跳②池田和志(東)▽走高跳②中村秀樹(東)◆女子▽百尺ハーフ①石田葉子(西)▽一年四百尺リレー③山田、石田、前田、中村(東)▽走幅跳②山田美和(東)▽走高跳②大橋晴恵(東)③中村美穂(東)▽水泳】◆一年男子▽一百五十平泳②稻村茂則(西)▽二百五十同②稻村茂則(西)▽一百五十背泳③小林徳裕(西)▽二百五十同③小林徳裕(西)▽一百五十バタ(西)▽一百五十同②古井憲(西)◆女子▽五百五十メドレー②若杉字(西)▽四百五十同②メドレー②若杉字(西)▽四百五十同②若杉字(西)◆二年男子▽二百五十自由③村井一義(西)▽一百五十バタ(西)▽一百五十同②古井憲(西)◆女子▽五百五十自由③佐々木伸子(西)◆一年女子▽四百五十自由③佐々木伸子(西)◆二年女子▽五百五十同②

訂正とおわび

十一月二十五日号の町表彰者紹介欄に、星野博子(東)▽二百五十平泳①星野博子(東)▽二百五十

勤務され、町立巻病院に採用されました。川島先生は昭和三十年生まれで、加茂病院、小出病院などで勤務、昨年から今年九月まで、アメリカのニューヨーク州立大学病院へ赴任され、帰国後当分の間、診療にあたります。

## 町立病院に新しい先生



広沢秀夫先生



川島吉人先生



▲左から和田さん、市橋さん、金子さん、石田さん  
前浜)「部落の中で狭い視野を持つがちなわたしたちに、包摵的なアドバイスがとても役立ちます。」  
○金子姫子さん(学級委員長、越前浜)「部落の中で狭い視野を持つがちなわたしたちに、包摵的なアドバイスがとても役立ちます。」  
○和田タケミさん(角田浜)「どうしても出席しなければという責任感でいっぱいです。何とか最後までやりとげたいですね。」

いつの間にか積極的になっていた

自分に気付きました。」

「和田タケミさん(角田浜)「ど

うしても出席しなければという責

任感でいっぱいです。何とか最後

までやりとげたいですね。」

# 嫁ももらわない水争い

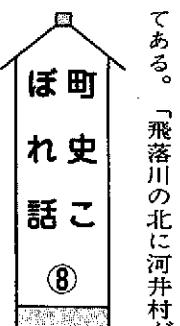
（飛落川をめぐる湯頭と河井）

## うぶごえ 9月21日～10月20日届出

名前	出生月日	保育者	区名
前田	9.10	徹也	浜丁部区浜岡岡丘
前田	9.11	一松	田山1
角	9.13	昭衛	漆山
漆	9.14	男夫	伏
伏	9.19	秋二	角並
角	9.20	豊利	並13
漆	9.21	孝敏	桔
漆	9.22	義勝	松野尾
漆	9.22	聰	東
漆	9.23	互省	東
漆	9.24	修	葉河
漆	9.25	京忠	河布
漆	9.27	政真	桜峰
漆	9.28	弘忠	馬
漆	9.30	文行人	松
漆	10.1	明	山
漆	10.2	直一	山
漆	10.3	司也	山
漆	10.4	茂登	山
漆	10.4	啓道	桔
漆	10.5		
漆	10.7		

## おくやみ 9月12日～10月20日届出

名前	死亡月日	年齢	区名
メ策划	9.11	77	白寿
メ策划	9.21	79	白寿
メ策划	9.21	73	白寿
メ策划	9.22	83	白寿
メ策划	9.22	81	白寿
メ策划	9.23	89	白寿
メ策划	9.23	83	白寿
メ策划	9.24	78	白寿
メ策划	9.25	74	白寿
メ策划	9.25	90	白寿
メ策划	9.28	76	白寿
メ策划	10.3	82	白寿
メ策划	10.5	73	白寿
メ策划	10.6	54	白寿
メ策划	10.7	79	白寿
メ策划	10.9	60	白寿
メ策划	10.9	67	白寿
メ策划	10.10	81	白寿
メ策划	10.16	83	白寿
メ策划	10.18	92	白寿

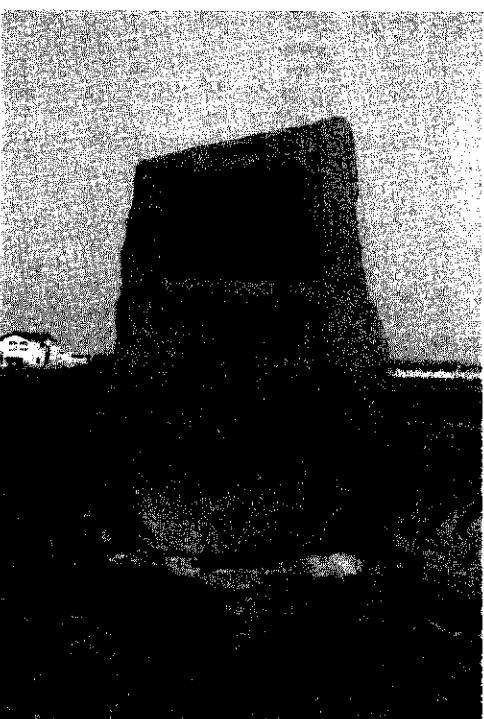


国道に近い櫻林地内に飛落川岸に、小さな石碑がある。篆額(題字のこと)には「排水彰功之碑」と書いてあって、明治八年(一八七五)二月に建てられている。

碑文を見ると、次のように記してある。「飛落川の北に河井村が

あり、飛落川に堰をして用水を引き、大雨が降つてもその堰を開けられない。堰上八か村は時々、水害によって作が流れていた。しかも、河井村では日夜堰番をつけてるので、水けんかは絶えなかつた。そのために処刑された人たちや、牢屋で死んでいた人たちもあつた。

下和納の庄屋石田禄郎さんを中心とした八か村の人たちは八方奔走して、ようやく堰に閘門(水量調節用の堰)を伏せ込んでもらうことになった。堰上の八か村は、それで水害から救われるようにな



▲水争いを記した櫻林地内の石碑

走して、ようやく堰に閘門(水量調節用の堰)を伏せ込んでもらうことになった。堰上の八か村は、それで水害から救われるようにな

った」。  
西蒲原郡内の川には、いたる所に堰があつたが、これらの問題を解決するのに、水の高さを測る、

「定杭」を打ち込んで目安にしたものである。河井には当時の定杭が保存されているから、よほど因縁の長い水争いであったことがうかがえる。

村とは、耕地も地続きの隣村であり、湯頭の畠などは河井の宅地近くにあつて朝晩互いに顔を合わせている仲である。ところが、この隣り合せの両部落には開村以来一組の縁組も無いという。飛落川は、既に一連の排水の専用路線となつて、水争いは遠い昔語りになつてもいる時代なのだが。

第四部会(近・現代) 西村欣策

# 広報まきお知らせ

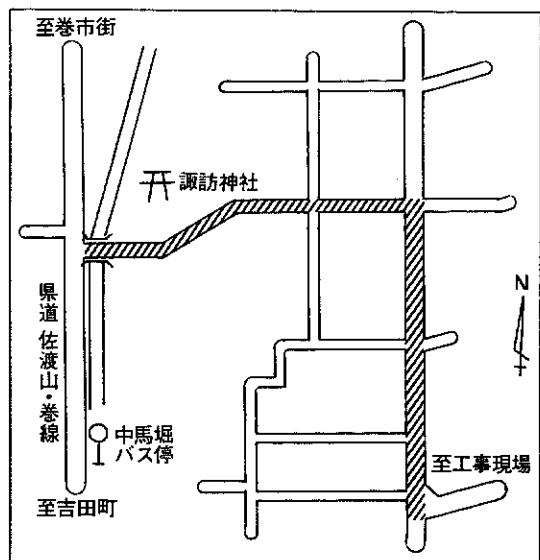
1986.11.10

No.40

発行／新潟県卷町 編集／企画課 ☎72-3131 毎月2回 10日・25日発行

工事用道路です。

ご注意ください



今日は特に、悦巖が初めて住職となり、禪の修業寺であった静岡県掛川市の少林寺から十一点の貴重な資料が特別出展されます。また

赤塚の出身で、宝暦年間（約二百三十年前）の十二年間、仁箇万福寺住職だった曹洞宗の高僧悦巖和尚とその師弟の遺墨や資料を一堂に集め展示します。

とき 十一月六日(木)から十六日

(日)まで、午前九時から午後四時まで(十日(月)は休館します)

ところ 郷土資料館特別展示室

た、中蒲・横越村文化財の宗賢寺所蔵、悦巖肖像や町文化財の万福寺所蔵、遺墨五点など三十五点が展示されます。

## 資料館特別展

16日まで



▲少林寺藏の悦巖さまの肖像画

## 秋季町民バーボン大会

体育の秋。運動は、心も体もリ

フレッシュさせてくれます。あなたもバレーボールでいい汗流しませんか。

とき 十一月三十日(日)午前九時から

ところ 町営体育馆

種目 男子六人制・女子九人制

参加費 一チケット50円

申し込み 申し込み用紙に記入し

十九日(水)までに参加費を添えて役場体育課 ☎72-3131へお申しこみください。

※抽選会を十九日(水)午後七時三十分から卷町公民館二階和室で行い

ます。

申込み

対象

参加費

会場

みください。

申込み

対象

参加費

会場

みください。

申込み

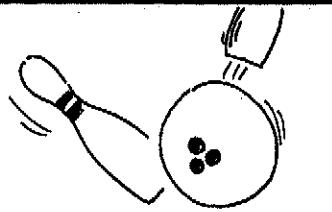
対象

参加費

会場

みください。

## 第3回 町長杯争奪 町民ボウリング大会



恒例となつた町民ボウリング大会を次のように行ないます。ふるってご参加ください。

とき 十一月三十日(日)午前十時から

ところ 弥彦ラビットボウル

対象 町民および町内に勤務される方五十人

参加費 千七百円

日(火)までに役場体育課へお申し込

みください。



保育園児の募集…62年度の町立保育園児と竹野町保育園児の募集受け付けは12月15日(月)から19日(金)までに行う予定です。詳しくは広報まき11月25日号のお知らせ版でお伝えします。



11月

16~30日

# 町民生活カレンダー

○=時間  
■=会場  
◎=対象者

16日	●休日救急当番医 [外科] 県立吉田病院 ☎②5111 [内科] 長沼医院 ☎②2210 ● 休日営業スタンド加藤油店巻北、キース タンド国道、青柳石油巻、笹川農機店白 山 ●手芸・つまみ絵展(17日まで) 9:00 ~17:30、17日 9:00~17:00 卷町 公民館 2階研修室 ●アマチュア無線と ニューメディア 10:00~20:00 卷町 公民館 3階小ホール ●婦人卓球・バド ミントン大会 9:00~ 町営体育館
17月	●作業停電 ■仁箇の大部分 13:00~16: 00 ●インフルエンザ予防接種(あた ご保、めぐみ保)
18火	●町立病院小児科午後休診 ●一歳半児 健診 13:30集合 役場 3階大会議室 ●インフルエンザ予防接種(すわ保、七 浦保)
19水	●作業停電 ■赤錆の一部 9:00~12: 00 ●インフルエンザ予防接種(仁箇保、 稻島保)
20木	●インフルエンザ予防接種(ひのまる幼、 入徳館保) ●心配ごと相談 10:00~ 15:00 役場 1階相談室
21金	●インフルエンザ予防接種(松野尾保、 松野尾小、竹野町保) ●健康づくり教 室 ■栄町 9:30~15:00 栄町集会所 ●書道展・学童習字作品展(23日まで) 21・22日 9:00~20:00、23日 9:00 ~17:00 卷町公民館 2階研修室、3階 小ホール
22土	●卷町公民館紙粘土教室作品展(24日まで) 9:00~17:00 卷町公民館 3階 視聴覚室
23日	●休日救急当番医 [外科] 県立吉田病院 ☎②5111 [内科] 本田医院 ☎②2100 ● 休日営業スタンドフリー営業
24月	●休日救急当番医 [外科] 金子外科医院 (岩室村) ☎②4786 [内科] 大越医院 ☎ ②2707 ●日本画展・ポイント写真展 (26日まで) 24・25日 9:00~21:00 26日 9:00~18:00 卷町公民館 2階研 修室
25火	●町立病院小児科午後休診 ●三歳児健 診 13:30集合 役場 3階大会議室 ●インフルエンザ予防接種(越前小)
26水	●町立病院小児科午後休診 ●インフル エンザ予防接種(漆山小) ●健康づくり 教室 ■鴻頭 9:30~15:00 鴻頭分館
27木	●作業停電 ■竹野町の大部分 13:00~ 16:00 ●町立病院小児科午後休診 ●インフルエンザ予防接種(巻南小) ●心配ごと相談 10:00~15:00 役場 1階相談室
28金	●インフルエンザ予防接種(巻北小) ●健康づくり教室 ■東町 9:30~15: 00 東町分館 ●献血 9:30~12:00 興農館高校、13:00~15:00 農業 大学校 ●消費生活苦情相談 13:30~ 15:30 役場 1階相談室 ●年末調整説 明会 10:00~12:00、13:30~16:00 卷町公民館 3階小ホール
29土	●町民洋画展(12月1日まで) 29~31 日 8:30~18:00 1日 8:30~16:00 卷町公民館 2階研修室 ●陶芸展・卷 フォートクラブ写真展(30日まで) 9: 00~20:00、30日 9:00~18:00 卷 町公民館 3階小ホール
30日	●休日救急当番医 [外科] 桑原医院 ☎② 2221 [内科] 古寺医院 ☎②2016 ●休日 営業スタンド加藤油店巻、樋口商店巻、 田辺石油巻イーター、佐藤石油国道、長 島石油巻 ●町民団体大会 9:00~17: 00 卷町公民館 3階視聴覚室 ●町民バ レーボール大会 9:00~ 町営体育館 ●町長杯ボーリング大会 10:00~ 弥 彦ラビットボール

## 野ねずみの一斉駆除

す。  
ミニ化亜鉛製剤で  
します。薬剤はラテ  
野ねずみの駆除を実施

十一月十五日(土)か  
ら二十三日(月)まで、  
町内全域の田畠で野  
ねずみの駆除を実施

年未調整に当たって特に注意が  
必要な点などの説明があります。  
とき 十一月二十八日(金)午前十  
時から十二時まで、午後一時三十  
分から三時三十分まで。  
ところ 卷町公民館 3階小ホール

今年度分の源泉所得税の年未調  
整説明会が、卷税務署の主催で開  
かれます。

## 年末調整説明会へ

問い合わせ、申し込みは十五日  
(土)までに公民館 ☎②3329 へ  
参加費 一万円程度

四日(月)(一泊二日)  
ところ 富山県婦負郡婦中町  
参加費 一万円程度

青年活動に関心のある人は、チャ  
ンスです。定員は二十五人です。  
とき 十一月二十三日(日)、二十  
四日(月)(一泊二日)  
ところ 富山県婦負郡婦中町  
参加費 一万円程度

教育委員会では、町内の青年を  
対象に青年県外研修を行います。  
青年活動に関心のある人は、チャ  
ンスです。定員は二十五人です。  
とき 十一月二十三日(日)、二十  
四日(月)(一泊二日)  
ところ 富山県婦負郡婦中町  
参加費 一万円程度

赤ちゃんのため  
に

※昼食後は歯を磨き、以後何も食べさせないでください。母子手帳をお持ちください。

◇一歳半児健診(内科・歯科検診)

対象 60年4月生まれの幼児

とき 11月18日(火)午後1時30分集合

ところ 役場 3階大会議室

◇三歳児健診(内科・歯科検診)

対象 58年8・9月生まれの幼児

とき 11月25日(火)午後1時30分集合

ところ 役場 3階大会議室

教育委員会では、町内の青年を  
対象に青年県外研修を行います。  
青年活動に関心のある人は、チャ  
ンスです。定員は二十五人です。  
とき 十一月二十三日(日)、二十  
四日(月)(一泊二日)  
ところ 富山県婦負郡婦中町  
参加費 一万円程度

教育委員会では、町内の青年を  
対象に青年県外研修を行います。  
青年活動に関心のある人は、チャ  
ンスです。定員は二十五人です。  
とき 十一月二十三日(日)、二十  
四日(月)(一泊二日)  
ところ 富山県婦負郡婦中町  
参加費 一万円程度

## 文化会館の催し物

町民芸能祭 ■16日(日)●第2回詩吟の集い

13:00~15:00※入場無料 ■23日(日)・民謡

の集い ■13:30~16:30※ 400円(当日 500

円) ■30日(日)●LIVE in MAKI ■13:

30~17:00※ 300円(当日 400円)

第7回グラッショク音楽の夕べ ■23日(日)■19:

00~21:00※入場無料